

PRESS RELEASE

2016年2月1日

株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、「IIJ セキュア Web ゲートウェイサービス」において、 標的型攻撃などに有効な「サンドボックスオプション」を提供開始

-- 5年連続国内売上シェアNo.1 サービスに未知の脅威を検知するSaaS型のサンドボックス機能を追加 --

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝 栄二郎、コード番号:3774 東証第一部)は、Webアクセスのセキュリティを統合的に提供する「IIJ セキュア Web ゲートウェイサービス」の機能を拡充し、標的型攻撃などに有効な「サンドボックスオプション」を本日より提供開始いたします。

IIJ セキュア Web ゲートウェイサービスとは、危険なサイトへのアクセスを遮断する Web フィルタリング、ウイルスやスパイウェアなどを未然に防止するアンチウイルス、Webアクセスのログ保管など、Webアクセスに求められる様々なセキュリティ機能をゲートウェイとして提供するクラウドサービスです。SaaS型 Web ゲートウェイ・セキュリティ市場売上シェアにおいて、2011年度から2015年度まで5年連続で国内No.1※を獲得し、2015年9月末時点での契約数は100万アカウントを突破しています。

※2015年7月8日発行 ITR 市場調査レポート「ITR Market View: 不正アクセス対策市場 2015」

サンドボックスオプションの概要は以下のとおりです。

サンドボックスオプションでは、安全な仮想環境上において外部から受け取ったファイルを実行、その振る舞いを観察することで疑わしいファイルを検知します。シグネチャマッチングでは検知することが難しい、未知のマルウェアを検知することができます。

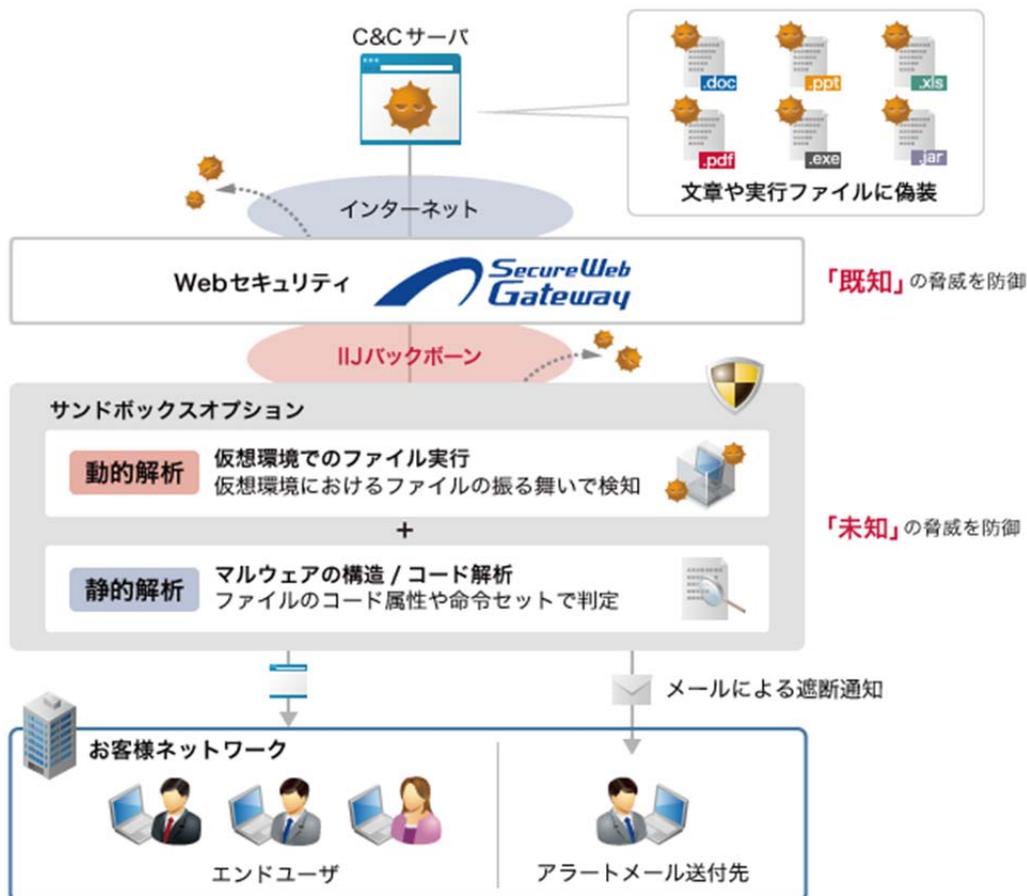
- サンドボックスをすり抜ける攻撃に対抗する静的コード解析
サンドボックスを回避するための隠蔽されたコードやロジックが組み込まれたマルウェアに対し、プログラムの内部構造を分析する静的コード解析を行うことで、サンドボックスをすり抜ける攻撃の検知率を高めます。
- 日本語 OS やアプリケーションを採用したサンドボックス環境で検査
日本国内での利用を想定し、サンドボックス環境は日本語の Windows OS やアプリケーションを採用しています。検知精度向上のため、お客様の利用環境に近い IIJ 独自の仮想環境を提供します。
- クラウド型サービスによりアセットレスでセキュリティ強化を実現
IIJ バックボーン上に設置したサービス設備内で処理を行う SaaS 型サービスのため、自社でアプライアンス機器等のハードウェアを保有するコストや運用の負荷を軽減し、短期間での導入を可能にします。

サンドボックスオプション費用

利用端末数に応じた個別見積

※最低利用期間は1ヵ月です。1台からの利用に対応し、特定のセグメントのみに導入するなどスモールスタートが可能です。

サンドボックスオプション概要図



■サービス概要は、<http://www.ij.ad.jp/biz/swg/>をご覧ください。

IIJ では今後とも、よりセキュアで安定した Web アクセス環境を提供すべく、機能拡充に努めてまいります。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 荒井、増田

TEL: 03-5205-6310 FAX: 03-5205-6377

E-mail: press@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/>